

医薬品産業の振興とそれを担う専門人材育成・確保

○事例概要

「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアムでは产学官が連携し、富山県の医薬品業界で活躍する人材の育成や、アカデミア発研究シーズの実用化を目指しています。

○事業の取組み内容

人材育成事業

富山県薬業連合会・富山大学・富山県立大学・県薬事総合研究開発センターが協力連携して、製薬・創薬を体系に学べる「ネクスト・ファーマ・エンジニア養成プログラム」を実施。学生向けのみならず、社会人のアップスкиリングにも役立つ人材育成事業を展開しています。これらの教育プログラムにより、医薬品産業の次世代を担う人材育成に取り組んでいます。



全国の学生が富山県内製薬企業で研修



バイオ医薬品専門人材育成研修

研究開発事業

「創薬」と「製薬」の2つの「つくる」にフォーカスした研究テーマを推進しています。

研究テーマの具体例

小さなお子さんや高齢者が服用しやすいミニタブレットの開発

直径2~3ミリのお薬「ミニタブレット製剤」は、飲み込むことが難しい小児や高齢者にとって服用しやすく、利便性の高い剤型ですが、その製造には高度な技術を要します。県薬事総合研究開発センターでは、超精密な金属加工技術を持つ県内企業と協力し、高品質のミニタブレットを製造する技術を開発しました。



試作したミニタブレット(左)と一般的な錠剤

がん患者さんを対象に心身状態の問診を在宅でも行える観察研究

富山大学附属病院 臨床研究開発推進センターでは、従来は紙で行われていた問診を、スマートフォンを用いて在宅でも行える仕組みを構築しました。がん患者さんの利便性向上と、医師など医療スタッフとのより円滑なコミュニケーションの実現を目指しています。

